

新たな多文化共生の可能性—複数の国々での 教授経験をもとに多文化共生を考える



写真: Jérôme Panconi

講師: ミレイユ・カル＝グリユベール氏

2024年度立教大学招へい研究員。パリ第3ヌーヴェル・ソルボンヌ大学名誉教授、作家。専門はフランス文学、美学。カナダ王立協会芸術文学アカデミーのメンバー。主な著書に *Claude Simon, une vie à écrire* (Seuil, 2011年)、*Marguerite Duras, la noblesse de la banalité*, (De L'incidence éditeur, 2023年)がある。

11月8日(金) 17:30~18:30

ハイブリッド開催

対面参加: 立教大学池袋キャンパス 6405 教室

Zoom 参加:

<https://rikkyo-ac-jp.zoom.us/j/87177233488?pwd=lqio2uJWqSIW6tFVaeE08v7nXpwQsH.1>

ミーティング ID: 871 7723 3488

パスコード: 653437

本学教職員・学生・一般対象

使用言語: フランス語 (通訳あり、質疑応答は英語も可)

パリ第3大学名誉教授のミレイユ・カル＝グリユベール氏は、これまでチェコ、エジプト、イタリア、ドイツ、カナダ、フランスなど多くの国々で教鞭をとりながら、さまざまなバックグラウンドを持つ学生に対し、フランス文学およびフランス語圏文学を教授されてきた。また、多くの国々の研究者とともに、国際学会やシンポジウム、共同プロジェクトに携わっている。このような経験をもとにカル＝グリユベール氏より多文化共生の可能性についてご講演いただき、文化間の隔たりを埋めるために必要となる具体的な視点を検討する。

主催: 立教大学外国語教育研究センター

入場無料/事前予約不要/問い合わせ先: 関 未玲(sekimirei@rikkyo.ac.jp)